

2021年2月22日

株式会社ダイセルで「ESG 経営支援ローン」を成約

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 ^{みけ かねつぐ}三毛 兼承、以下「当行」）は、お客さまの ESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みを支援・サポートする ESG 評価型融資商品である「ESG 経営支援ローン（以下、「本商品」）」の取り扱いを行っております。

本商品の ESG 評価は、株式会社三菱 UFJ フィナンシャルグループの一員である三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社（以下、「MURC」）をサービス提供者、グリーンファイナンスの認証実績のある株式会社日本格付研究所（以下、「JCR」）をサポート企業としております。MURC が ESG に関する独自のチェック項目に基づき、お客様の ESG に対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCR との連携で客観的な評価を実施し、課題等もお客様にフィードバックします。本商品は、評価結果が一定以上の企業を対象とした評価型の融資商品となります。

本日、株式会社ダイセル（代表取締役社長 ^{おがわ よしみ}小河 義美、以下「当社」）は、ポリプラスチック株式会社の株式追加取得（完全子会社化）資金として、本商品を活用してシンジケートローンを締結しました。

また、MUFG ESG 評価において、「業界をリード」と最高評価である S ランクを取得しました。

当社は、1919年の設立以来、モノづくりを通じて、世の中に貢献する価値を生み出してきました。これからも、長年培った独自の技術、ノウハウを駆使して社会課題を解決するとともに、今回の ESG 評価の取得をきっかけに、今後、更なる ESG 経営への取り組み強化を図ってまいります。

【高く評価を受けた当社の ESG に関する取り組み】

- ◇ サステナビリティの取り組みについてトップマネジメントが自ら関与し、ESG 経営を推進するための体制を構築している
- ◇ サステナビリティに関するウェブページを開設し、サステナビリティレポートにおいて網羅的に情報を開示している
- ◇ 「レスポンシブル・ケア活動」において、代表取締役社長をトップとする推進体制の下、「環境保全」「労働安全衛生」等各テーマについて目標を制定する仕組みがある
- ◇ 「酢酸セルロース」の海洋分解性に優れた環境性能をウェブサイトで公表するなど、自社製品の環境価値を訴求している。また、製品・製造工程での環境負荷低減テーマでの研究開発など（環境負荷低減製品の開発も含む）を実施している
- ◇ サステナビリティの推進にあたって、「基本的な考え方」および「サステナブル経営方針」を策定し、社会について「ダイバーシティ推進」、「人権の尊重」等の各テーマについて「基本的な考え方」を策定している
- ◇ 「ダイセルグループ行動方針」および「ダイセル行動規範」を制定している。それらの実践を「企業倫理活動」と位置付け、「企業倫理マネジメントシステム」を構築し、推進している

当行は金融機関の使命として、長期的な視点でお客さまや社会と末永い関係を築き、共に持続的な成長を実現することを経営ビジョンに掲げており、本業である金融機能を通じた環境及び社会の課題解決に積極的に取り組むことで、持続的な事業の成長と企業価値の向上の実現を目指しています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上